

平成 18 年 10 月 16 日

各 位

会 社 名 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 奥 田 陽 一  
(コード番号 4739 東証第1部)  
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長 藤 原 隆  
(TEL 03-6203-5000)

## 平成 19 年 3 月期中間期業績予想（連結および単体）の修正に関するお知らせ

平成 18 年 4 月 27 日付で発表いたしました、旧伊藤忠テクノサイエンス株式会社「平成 18 年 3 月期 決算短信（連結）」および「平成 18 年 3 月期 個別財務諸表の概要」の平成 19 年 3 月期中間期（平成 18 年 4 月 1 日から平成 18 年 9 月 30 日まで）の連結および個別の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 19 年 3 月期中間期の業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

##### （1）連結業績予想

（百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）（※1）	112,200	7,200	4,000
今回予想（B）	117,000	10,600	5,000
増減額（B - A）	+ 4,800	+ 3,400	+ 1,000
増減率	+ 4.3%	+ 47.2%	+ 25.0%
（ご参考） 前中間期実績	101,740	7,116	3,903

##### （2）単体業績予想

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）（※1）	105,400	8,500	6,900
今回予想（B）	112,000	10,900	6,900
増減額（B - A）	+ 6,600	+ 2,400	-
増減率	+ 6.3%	+ 28.2%	-
（ご参考） 前中間期実績	96,340	8,149	6,363

（※1）平成18年4月27日に発表したもの

#### 2. 修正の理由

当中間期の業績見通しにつきましては、好調な企業業績を背景とした IT 投資の拡大に伴い、情報通信、金融、エンタープライズ向けの各システム需要が順調に増加しました。この結果、受注高および売上高は期初予想を上回る見込みで推移しております。

利益面につきましても、各事業分野での増収効果に加えて、プロジェクト管理の徹底による不採算案件の減少や、ハードウェア製品等の保守サービス収益が堅調に推移したことにより、売上総利益率は高水準を維持する見込みであります。また、販売費および一般管理費は、業容の拡大に伴う経費増により前年同期比で増加しましたが、増収効果および収益性の向上により、経常利益は期初予想を上回る見込みであります。また、当中間期の特別損失として、合併関連費用や投資有価証券評価損等の計上を予定しているものの、中間純利益は期初予想、前年同期実績ともに上回る見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、修正の必要がある場合については、ご報告させていただきます。

以 上

※ 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。